

# 世界にはばたけ! 高校生アスリート

## ～インターハイ優勝者インタビュー～

本県では、「がんばれ!チーム大分」を合い言葉に、アスリートの育成と競技力の向上に取り組んでいます。天皇杯(男女総合順位)25位という結果を収めた今年の国民体育大会(愛媛県)では、高校生たちも若い力を大いに発揮しました。

今回は、全国高等学校総合体育大会等でめざましい活躍をみせてくれた高校生アスリートを紹介します。

**インタビュー項目** ① この競技をはじめたきっかけ ② この競技の魅力、面白さ ③ 競技を通じて一番の思い出 ④ 将来の夢・目標

### 陸上 女子100m優勝 県勢での同種目優勝は34年ぶり!



大分雄城台高校 3年 兒玉芽生さん

- ① 姉が陸上の練習をしているのを見て楽しそうだったから。
- ② 個人競技だがチームの仲間と高めあうことで強くなれること。ゴールを誰よりも先に駆け抜けた時の爽快感。
- ③ 高校3年間目標にしてきた国体(愛媛国体)で優勝できたこと。
- ④ 2020年東京オリンピックに出場すること。日本記録を更新すること。

### ライフル射撃 エアライフル10m立射40発優勝 高校から始め3度の全国大会優勝!



由布高校 3年 三重野呉春さん

- ① どの高校に進学するか迷っていたとき、母から由布高校に入ったら射撃をすることを勧められたから。
- ② 予選を勝ち抜いて8人が出場できる決勝に残ったら、予選の得点はリセットされて一から始まること。また、決勝では2発毎に最下位が脱落していくスリル。
- ③ 嬉しかったことは高校3年間で全国規模の大会で3度優勝できたこと。休みが少なく練習はきつかったけど最後まで頑張れたこと。
- ④ 進学し、射撃を続けて大学生になっても今以上の成績を残したい。

### カヌー カナディアンフォア(200m)優勝 スプリント学校対抗男子全国総合3位



高田高校 2年 田中智貴さん  
1年 米光陸さん 熊井雄弥さん 岩永紘明さん

- ① (田中) 高校に入学後の見学で、すごくかっこいい、やってみたいと思い。(岩永) 小5のカヌー体験で、とても楽しかった。(熊井) 兄がカヌーをしているの影響。(米光) 小3の時にジュニア時代の監督に誘われて。
- ② (田中) どうしたら効率的に進められるかを考え、計画的に筋力や体力を向上させるところ。(岩永) 風や水を切って進む感覚やスピード感が気持ちいい。(熊井) 日々努力し、何ヶ月もかかってようやくベストタイムを出したときの爽快感。(米光) レースで、多くの駆け引きをしている中、1位になったときの達成感。
- ③ (田中) (岩永) 今年の全国総体で、C-4、200m優勝。(熊井) 初めてJr.の日本代表選考していただき、認定証を受け取ったとき。(米光) 全国総体や世界大会など優勝し祝福を受けたとき。
- ④ (田中) 来年度のJr.日本代表になり世界大会で活躍。(岩永) (熊井) オリンピック出場。(米光) オリンピック出場、全国総体と国民体育大会優勝。

### フェンシング 個人フルーレ優勝 兄妹そろって全国制覇!



別府翔青高校 3年 上野優斗さん 1年 上野優佳さん

- ① (兄:優斗) 小学校2年生から。親がやっていたので。(妹:優佳) 親がフェンシングをやっていたので。
- ② (兄) 駆け引きの面白さや、攻撃をしいて、逆に攻撃をする一瞬のやりとり面白さがある。(妹) 1対1の試合で自分の得意な技などが決まると嬉しくて、試合に勝つと面白い。
- ③ (兄) 全国選抜、インターハイ、国体を優勝できたこと。(妹) 16歳以下の世界大会で決勝までいけたこと。
- ④ (兄) (妹) 東京オリンピックに出てメダルを取ること。

この他にも、陸上のベヌエル・モゲニ選手(大分東明高校2年)、バレー女子(東九州龍谷高校)、フェンシング部団体(別府翔青高校)が見事、優勝しました。今後の活躍を期待しています。

☎ 体育保健課 TEL 097-506-5641